



がんばれ高田 負けるな高田
できる できる できる!

【校訓】

自主・協力・創造

文責 校長 大串 久隆

11月中ごろを過ぎ、急に冷え込みが強くなりました。生徒たちは、16日(木)、17日(金)の期末テストを終えて、少し、気持ちが落ち着いたところではないでしょうか。しかし、まだ、1、2年生は12月に標準学力調査(CRTテスト)、3年生は高校入試が控えているので、気持ちを引き締めて、継続的な学習を頑張ってもらいたいです。



学校掲示板ポスター

読書の秋:図書部が様々な活動を行っています。

○読書感想カード:読んだ本の心に残ったところや感想を書くカード

根拠を明確にして、とても分かりやすく説明した生徒を表彰しています。右の画像は、最優秀賞の奥田さんのカードです。

最優秀賞

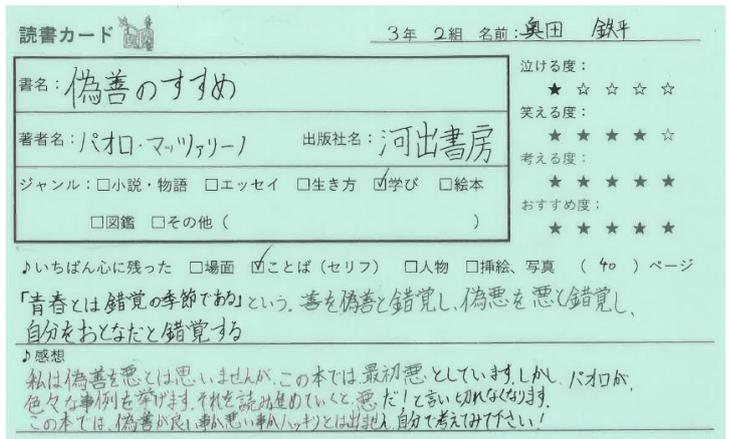
奥田鉄平さん(3-2)、草野琉華さん(3-1)

優秀賞

西野夏帆さん(1-2)、渡邊武琉さん(2-1)、
松尾和香さん(3-2)

佳作

森山春花さん(3-1)、橋口煌さん(3-2)、
濱崎 尚さん(3-2)



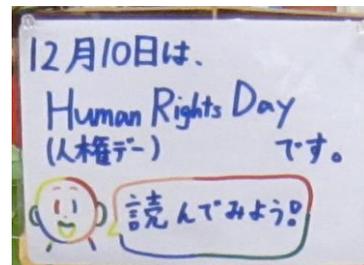
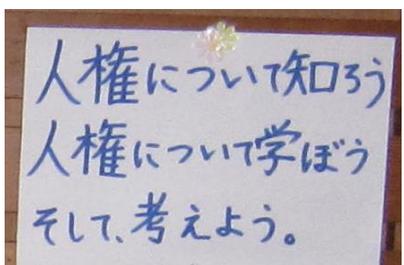
○今年度の人権学習のテーマ:フェアトレードに関連する本の紹介

今年度の人権集会では、フェアトレードについて学習します。

日本では途上国で生産された日用品や食料品が、驚くほど安い価格で販売されていることがあります。一方生産国ではその安さを生み出すため、正当な対価が生産者に支払われなかったり、生産性を上げるために必要以上の農薬が使用され環境が破壊されたり、生産する人の健康に害を及ぼしたりといった事態が起こっています。

生産者が美味しくて品質の良いものを作り続けていくためには、生産者の労働環境や生活水準が保証され、また自然環境にもやさしい配慮がなされる持続可能な取引のサイクルを作っていくことが重要です。

フェアトレードとは直訳すると「公平・公正な貿易」。つまり、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」をいいます。図書部は、フェアトレードに関係する書籍を、コーナーをつくって紹介しています。生徒の皆さんにも、ぜひ、手にとって読んでほしいです。12月7日(木)の人権集会では、カリオモンズコーヒーロースターズの伊藤寛之さんに、フェアトレードの取組について講話をしていただく予定です。保護者の皆様も、ぜひ、講話を聞いていただければと思います。



令和5年度 女性に対する暴力をなくす運動 高田中の取組

暴力は、その対象の性別や加害者・被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。特に、配偶者等からの暴力、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアルハラスメント等、女性に対する暴力は、重大な人権侵害であり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

この運動は、都道府県、市区町村、男女共同参画推進連携会議、関係団体、有識者等との連携、協力の下、社会の意識啓発等、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化することを目的としています。特に、女性に対する暴力の根底には、人権の軽視があることから、人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることが重視されています。高田中では、「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、玄関のツリーに、パープルリボンを飾るとともに、11月15日に、高田中校舎をライトアップするパープル・ライトアップを実施しました。

パープル・ライトアップには、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して、「ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。」というメッセージが込められています。



3年生が、
リボンをきれいに飾ってくれました

11月1日から30日は、「児童虐待防止推進月間」です。

児童相談所における児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加傾向にあり、子どもの生命が奪われるなど重大な事件も後を絶ちません。このような状況を受け、厚生労働省の主唱により、平成16年度から毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と位置付け、児童虐待防止のための集中的な広報・啓発活動が行われています。

10月31日に町教育委員会からテトルで配信された「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」もこの活動の一環です。地域や家庭における家庭教育支援の取組や児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応のための取組を活性化し、児童虐待の防止や体罰・暴言によらない育児が推進されるように、みんなで明るく、支え合う社会をつくっていきましょう。



長与町図書館まつり「子ども俳句」入選作品

| | | | | | | | |
|----|-------------------------------|----|-----------------------------------|----|-----------------------------------|----|-------------------------------|
| 金賞 | 白龍よ 秋空の下 高く舞え 三年 林和樹 | 銀賞 | 秋夕焼け 朱に染まりし わが母校 三年 倉橋慧衣 | 銅賞 | 思い出と 打ち上げ花火 空に咲く 二年 曾谷優月 | 銅賞 | 美しい 星の行列 天の川 一年 門崎結和 |
|----|-------------------------------|----|-----------------------------------|----|-----------------------------------|----|-------------------------------|

長与町図書館から、子ども俳句の募集があり、全校生で応募して、上記の皆さんが入選しました。

税の作文入選者

毎年11月11日から17日までの1週間が「税を考える週間」と設定されており、先日、税の作文の入選者に賞状をいただきました。社会科で3年生が税について考え、作文を書いて応募したものです。様々な視点から税についての意見を書いており、改めて、お金の大切さや税金の使われ方について考えることの大切さを実感しました。

税についての作文 入選者

| | | |
|---------------------|---------|--------------|
| 長崎税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞 | 竹内 碧彩さん | 「税で支える」 |
| 長崎県振興局 局長賞 | 三浦恵里衣さん | 「住みよい社会」 |
| 長与町 町長賞 | 山口 純怜さん | 「暮らしを支える消費税」 |
| 長与町 教育長賞 | 森 圭三さん | 「国債は？」 |